



## 2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年3月12日

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所 東  
 コード番号 5572 URL http://ridge-i.com  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柳原 尚史  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 中井 努（TEL）03(4214)8558  
 半期報告書提出予定日 2026年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	1,150	△18.2	169	△15.5	168	△17.0	105	5.4
2025年7月期中間期	1,407	—	200	—	202	—	99	—

（注）包括利益 2026年7月期中間期 113百万円（△17.7%） 2025年7月期中間期 137百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	25.12	24.56
2025年7月期中間期	25.76	24.92

※2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期中間期の対前年同中間期増減率については記載していません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	3,966	3,636	84.7
2025年7月期	2,846	2,458	77.0

（参考）自己資本 2026年7月期中間期 3,359百万円 2025年7月期 2,190百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	8.0	345	21.8	345	18.6	210	50.4	48.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年7月期中間期	4,315,320株	2025年7月期	3,909,880株
2026年7月期中間期	76株	2025年7月期	76株
2026年7月期中間期	4,182,538株	2025年7月期中間期	3,868,432株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、四半期決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(重要な後発事象) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年8月1日から2026年1月31日)における我が国の経済環境は、雇用環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られ、このような中、生成AI技術への注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。ただし、円安による輸入コストの上昇や、物価・賃金コストの上昇など、依然として、経済全体としての外部リスク要因は継続しています。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションの提案から実装までを行っており、特に直近では生成AI関連のニーズが増加しております。また、AI技術と親和性の高いデジタルマーケティング事業において、SNS広告のプランニングから制作までとプラットフォームの配信や広告等で利用される音楽制作を展開してまいりました。

2025年9月には、SBIホールディングス株式会社との資本業務提携、第三者割当増資による新株式の発行を行いSBIホールディングス株式会社の関係会社となっております。この資本業務提携に基づき金融データや企業ネットワークを使った各種施策を進めており第2四半期から取引を開始しております。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、既存顧客からのAIプロジェクトの継続、生成AIテーマの案件増及び一部案件が継続拡大している一方で、前期にあった大型の衛星AI案件が完了し保守運用フェーズに移行したこととプラットフォームからのマーケティング案件が減少したことにより、1,150,566千円(前期比18.2%減)となり、売上総利益については、671,439千円(前期比7.2%減)となりました。

営業利益については、上記のとおり売上高の減少に伴い、169,688千円(前期比15.5%減)となりました。なお、外注利用、積極的な採用活動や生成AI等の新しい技術に対応するための研究開発を継続しておりますが、比較的大型案件が多く利益率がよかったため営業利益率は14.7%と想定より高い水準となっております。

経常利益については、営業利益の減少及び第三者割当増資による株式交付費6,740千円の計上により、168,390千円(前期比17.0%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、法人税等57,468千円及び子会社の株式持分が67.0%のための非支配株主に帰属する中間純利益8,463千円などにより、105,060千円(前期比5.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、売上高が638,853千円(前期比5.1%減)、セグメント利益が154,199千円(前期比50.6%増)となり、サービス別では、前期から継続している大手企業の顧客を中心にしたAIプロジェクトの継続に加えてコンサルティングファームとの連携による案件が進捗したことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は507,701千円と増収となり、また既存顧客の案件拡大や新規に開始したSBIホールディングス株式会社との連携など大型かつ期間の比較的長いプロジェクトが多くなったことにより大幅な増益に貢献しています。衛星関連プロジェクトは予定通り大型案件が2025年3月で完了し保守運用フェーズへ移行したことにより売上が減少となり人工衛星AI解析の売上高は64,590千円となりました。AI保守運用については大型の保守運用が継続しており売上高は66,561千円となりました。

#### ②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、売上高が511,713千円(前期比30.2%減)、セグメント利益が15,488千円(前期比84.3%減)となり、サービス別では、大手企業からの広告制作や運用などが増加した一方でプラットフォームからの受注が減少しソーシャルメディアマーケティングの売上高は352,329千円、音楽制作配信サービスの売上高は159,383千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は3,463,011千円となり、前連結会計年度末に比べ1,156,842千円増加いたしました。これは主に、第三者割当増資などにより現金及び預金が1,123,769千円増加したことによるものであります。また、当中間連結会計期間末における固定資産は503,099千円となり、前連結会計年度末に比べ37,049千円減少いたしました。これは主に除却などにより有形固定資産が17,723千円減少したことおよび償却によるのれんが16,655千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は3,966,111千円となり、前連結会計年度末に比べ1,119,792千円増加いたしました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は326,178千円となり、前連結会計年度末に比べ43,704千円減少いたしました。これは主に、年度末の納税により未払法人税等が16,450千円減少したことによるものであります。また、当中間連結会計期間末における固定負債は3,219千円となり、前連結会計年度末に比べ14,434千円減少いたしました。これはオフィス賃借契約更新時の条件変更に伴い資産除去債務が減少したことによるものであります。この結果、負債合計は329,398千円となり、前連結会計年度末に比べ58,139千円減少いたしました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,636,712千円となり、前連結会計年度末に比べ1,177,932千円増加いたしました。これは主に、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ529,620千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年9月12日に公表した2026年7月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2026年7月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,827,826	2,951,596
売掛金及び契約資産	405,196	436,529
前払費用	32,829	33,882
その他	40,315	41,002
流動資産合計	2,306,169	3,463,011
固定資産		
有形固定資産	63,837	46,113
無形固定資産		
のれん	299,804	283,149
その他	24,603	23,100
無形固定資産合計	324,408	306,249
投資その他の資産	151,904	150,736
固定資産合計	540,149	503,099
資産合計	2,846,318	3,966,111
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	177,903	156,998
未払金	54,217	68,151
未払法人税等	61,339	44,889
契約負債	38	357
賞与引当金	13,155	3,061
役員賞与引当金	7,150	—
その他	56,079	52,720
流動負債合計	369,883	326,178
固定負債		
資産除去債務	17,654	3,219
固定負債合計	17,654	3,219
負債合計	387,538	329,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,392	11,609
資本剰余金	1,857,145	2,947,402
利益剰余金	295,425	400,485
自己株式	△194	△194
株主資本合計	2,190,769	3,359,303
新株予約権	7,416	8,350
非支配株主持分	260,595	269,059
純資産合計	2,458,780	3,636,712
負債純資産合計	2,846,318	3,966,111

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	1,407,065	1,150,566
売上原価	683,679	479,126
売上総利益	723,385	671,439
販売費及び一般管理費	522,621	501,751
営業利益	200,764	169,688
営業外収益		
受取利息及び配当金	205	1,848
助成金収入	1,860	2,400
講演料収入	538	798
受取遅延損害金	989	—
その他	403	395
営業外収益合計	3,997	5,442
営業外費用		
支払利息	454	—
株式交付費	—	6,740
為替差損	10	—
固定資産除売却損	1,513	—
営業外費用合計	1,978	6,740
経常利益	202,783	168,390
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	2,601
特別利益合計	—	2,601
税金等調整前中間純利益	202,783	170,992
法人税等	64,862	57,468
中間純利益	137,920	113,524
非支配株主に帰属する中間純利益	38,270	8,463
親会社株主に帰属する中間純利益	99,649	105,060

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間純利益	137,920	113,524
中間包括利益	137,920	113,524
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	99,649	105,060
非支配株主に係る中間包括利益	38,270	8,463

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	202,783	170,992
減価償却費	35,785	13,745
固定資産除売却損益(△は益)	1,513	—
資産除去債務戻入益	—	△2,601
のれん償却額	16,655	16,655
受取利息及び受取配当金	△205	△1,848
助成金収入	△1,860	△2,400
支払利息	454	—
株式報酬費用	—	4,841
株式交付費	—	6,740
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△265,520	△31,332
仕入債務の増減額(△は減少)	37,419	△20,905
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,730	△10,094
未払金の増減額(△は減少)	△21,585	13,933
契約負債の増減額(△は減少)	△121,406	319
その他	11,551	7,262
小計	△86,685	165,309
利息及び配当金の受取額	205	1,848
助成金の受取額	1,860	2,400
利息の支払額	△472	—
法人税等の支払額	△24,174	△91,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109,266	77,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△39,958	△3,979
有形固定資産の売却による収入	6,294	—
無形固定資産の取得による支出	△9,658	△2,384
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,660
敷金及び保証金の回収による収入	1,349	—
その他	△1,340	△1,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,313	△10,538
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△26,952	—
株式の発行による収入	14,172	1,056,696
自己株式の取得による支出	△101	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,881	1,056,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△165,472	1,123,769
現金及び現金同等物の期首残高	2,116,037	1,827,826
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,950,564	2,951,596

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)

当社は、2025年9月30日を払込期日とする第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ529,620千円増加しております。

また、2025年12月1日付で減資を行っており、資本金が558,519千円減少し、資本剰余金が558,519千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が11,609千円、資本剰余金が2,947,402千円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	673,482	733,582	1,407,065	—	1,407,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	673,482	733,582	1,407,065	—	1,407,065
セグメント利益	102,367	98,397	200,764	—	200,764

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	638,853	511,713	1,150,566	—	1,150,566
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	638,853	511,713	1,150,566	—	1,150,566
セグメント利益	154,199	15,488	169,688	—	169,688

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。